

第4学年 道徳学習指導案

2組 計38人 (男子16人, 女子22人)

指導者 中野嘉宣

1 主 題 名 きまりとは (C 規則の尊重)

資料名「雨のバス停留所で」(わたしたちの道徳 小学校3・4年)

2 主題について

(1) 内容項目とその系統 (2) 指導内容についての基本的な立場

【第1学年及び第2学年】
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

【第3学年及び第4学年】
約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

【第5学年及び第6学年】
法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。

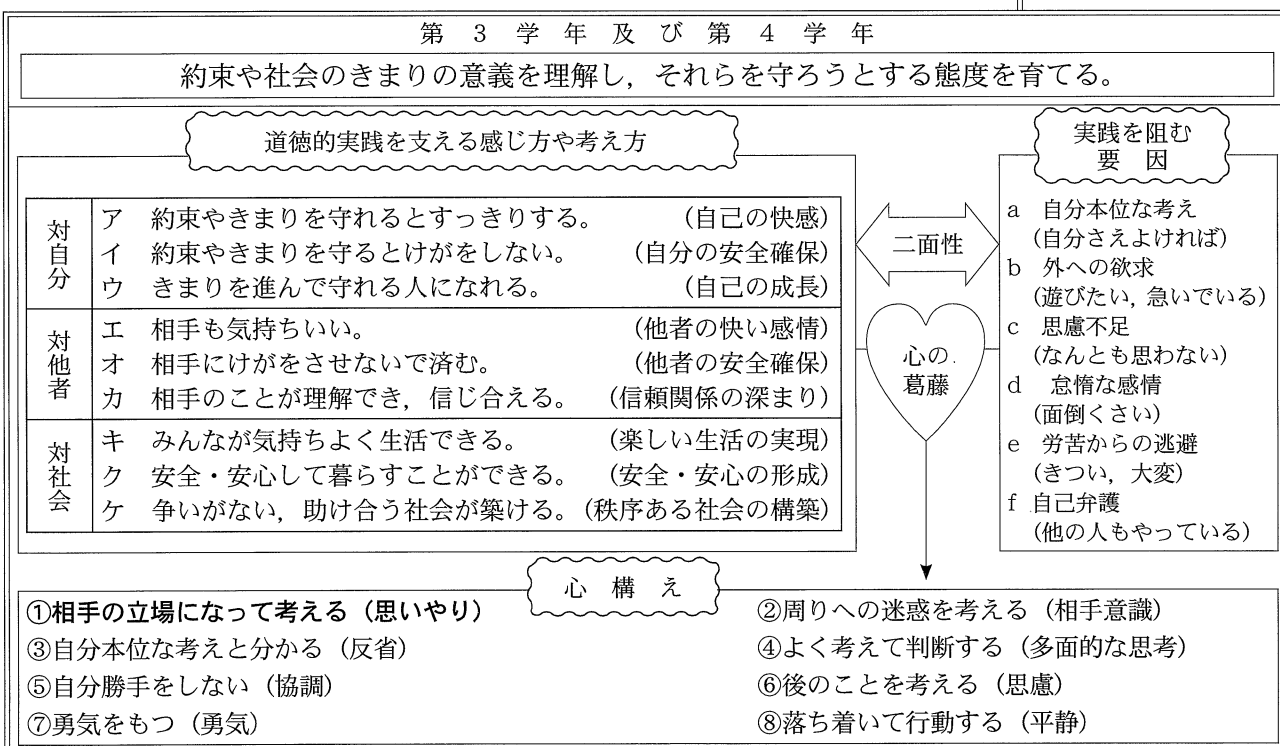
【中学校】
法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、規律ある安定した社会の実現に努めること。

規則の尊重とは、自分と相手とが気持ちよく生活していくために、お互いの意志に基づいて取り交わされた約束や法、きまりを守るとともに、互いの生活を律することである。ここでは、子供たちが、みんなが楽しく、安全に安心して生活できるようにしていきたいという願いを基に、集団や社会の一員として約束や法、きまりを進んで守っていかうとするための大切な考え方を身に付けていくことになる。

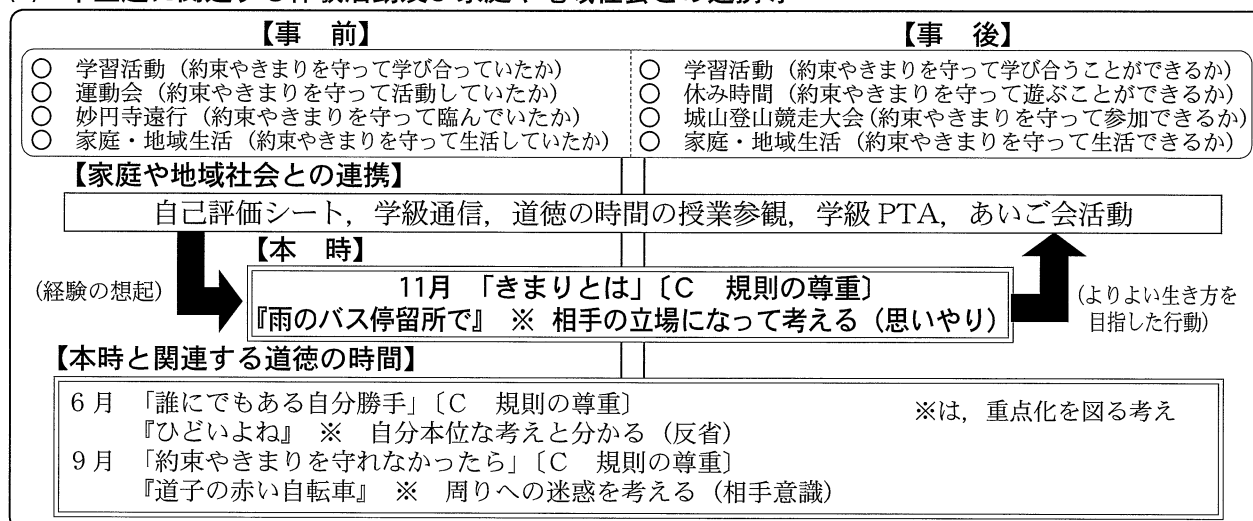
この期の子供たちは、日常生活を送る上で様々な約束やきまりを進んで大切にしていこうとしている。しかし、自分本位な考え方や外への欲求などの心の弱さから、約束やきまりを破ってしまうことがある。それらの心の弱さと望ましい生き方を目指す心との間に起こる葛藤を乗り越えていくためには、相手の立場になって考えるや周りへの迷惑を考えるなどの心構えが大切であることを伝えていく必要がある。

そこで、本主題では、みんなが気持ちよく生活し行動していく等のきまりのよさを理解することで、周りの状況や気持ちを想像し、相手の立場に立って公德を大切にすることができるようにする。これらのことにより、約束や社会のきまりの意義を理解し、進んで守ろうとする態度を育てる。

(3) 本主題の指導内容及び道徳的価値の構造



(4) 本主題に関連する体験活動及び家庭や地域社会との連携等



3 子供の実態

(調査人数37人 重複あり 平成28年9月2日)

(1) 本主題に関する経験場面①

きまりを守ることができた経験	人数
・ 意識をしているとき，よく考えているとき	16
・ 命に関わったり，迷惑になったりするとき	8
・ 家（宿題，ゲームの時間など）	6
・ 交通ルール，横断歩道を渡るとき	5
・ 学校（廊下歩行，給食，時間など）	3
・ バスに乗ったとき	1

(2) 本主題に関する経験時の気持ち

きまりを守ることができたときの気持ち	人数
・ うれしい気持ち，守れてよかった	15
・ すっきりした気持ち，明るい気持ち	13
・ きまりがあつてよかった，きまりは大切だ	6
・ これからもしっかり守ろう	5
・ みんなが気持ちよくなってよかった	3
・ 怒られない	1

(3) 本主題に関する経験場面②

きまりを守ることができなかった経験	人数
・ 機嫌が悪いとき，疲れているとき	17
・ 楽しく遊んでいるとき，ふざけているとき	10
・ 面倒くさいとき	6
・ 早くしたいとき，急いでいるとき	3
・ 自転車のきまりを守れなかったとき	3
・ 毎日同じきまりを守らないといけないとき	2

(4) 本主題に関する経験の理由

きまりを守ることができなかった理由	人数
・ 大丈夫，みんなも守っていないから	9
・ 面倒くさいと思ったから	9
・ 楽しかったから，夢中になっていたから	8
・ 早くしたかったから，自分のことを優先したから	6
・ 自分の機嫌が悪かったから	4
・ 我慢できなかったから	3

(5) 道徳的価値の意義

きまりを守るとどんなよいことがあるか	人数
・ 周りから褒められる，怒られない	15
・ 自分も周りもいい気持ちになれる	9
・ 自分自身が楽しい気分になる	5
・ 危険にならない，怪我をしない，安全に過ごせる	4
・ 次も守ろう，周りに広がる	3
・ 仲よくなれる，よい友達，学級が作れる	2

(6) 道徳的価値に対する心構え

きまりを守るためにどんな考えを大切にするか	人数
・ 進んで守ろうとする，弱い心に負けない	13
・ 自分のこともみんなのことも考える	7
・ 先のことまで考える，よく考える	6
・ きまりは何のためにあるのか考える	5
・ 後でいいことがある	4
・ みんなで協力する，優しい気持ち	2

(1)(2)から，毎日の学校生活や身近な生活場面の中で，きまりを意識することが多く，そのときの気持ちとして，自分自身に対する快い感情を抱いていることが分かる。(3)(4)から，「みんなも守っていない」，「面倒くさい」といった際にきまりを守れていないことが分かる。これは，自己弁護の考えや怠惰の感情などの心の弱さによるものから，きまりを守ることの意義を十分に実感できるようにする必要があると考える。(5)(6)から，きまりを守る意義として，「周りから褒められる」，「怒られない」といった他律的な考えが多いことが分かる。また，きまりを守る心構えとして，「進んで守ろうとする」，「自分もみんなのことも考える」ことを大切にしていることが分かった。

この調査を踏まえ，本時では，相手の立場に立ってきまりを進んで守ることの大切さを理解できるようにする。そのために，まず，きまりを守ることの意味について考えたり，できなかった経験を振り返ったりさせる。その際，できなかった理由に「楽しかったから」，「自分のことを優先したから」と記入していた子供を意図的に指名することで，自分本位な考えや外への欲求などの心の弱さを想起させる。次に，きまりを守ることの意義について考える場面において，「自分も周りもいい気持ちになれる」，「よい学級や社会が作れる」など，对他者，对社会へと考えを広げることができるようになる。そのことで，「相手の立場になって考える（思いやり）」という本時の重点化を図る考えに結び付け，相手の立場や気持ちを考えることで，公德心をもつことのよさに気付くことができるようにする。

4 資料について

(1) 資料のあらすじ

雨が降り続く中、よし子はお母さんとおばさんの家に出かけた。バスの停留所に着くと、バスを待つ人たちがたばこ屋の軒下で雨宿りをしていた。遠くにバスが見え始めたとき、よし子は雨の中へ駆け出し、停留所の先頭に並んだ。バスが止まり、よし子が一番に乗ろうとすると、お母さんに肩をつかまれ、並んでいた元の場所まで連れていかれる。よし子がバスに乗ったときには、もう席は空いていなかった。お母さんは黙ったまま、窓の外をじっと見つめている。よし子は、自分のしたことを考え始めるのであった。

(2) 資料の分析・反応予想

場 面	分析（価値構造図より）	予想される子供の反応
1 たばこ屋の軒下で雨宿りをしながらバスを待つよし子 【心の弱さ】	a 自分本位な考え（自分さえよければ） c 思慮不足（なんとも思わない） d 怠惰な感情（面倒くさい） e 労苦からの逃避（きつい、大変）	<ul style="list-style-type: none"> 早くバスに乗りたい。 停留所には並んでいないな。 並ぶのが面倒だ。 疲れているから席に座りたい。
2 雨の中へ駆け出し停留所の先頭に並ぶよし子 【心の弱さ】	a 自分本位な考え（自分さえよければ） e 労苦からの逃避（きつい、大変） f 自己弁護（他の人もやっているから）	<ul style="list-style-type: none"> 自分が一番に乗れたらいい。 早く席に座りたい。 誰も停留所に並んでいないな。
3 母の横顔を見て自分がしたことを考え始めるよし子 【意義、感動】	ア 自己の快感（対自分） エ 他者の快い感情（対他者） キ 楽しい生活の実現（対社会） ①思いやり ②相手意識 ③反省 ④多面的な思考 ⑤協調 ⑥思慮	<ul style="list-style-type: none"> きまりを守れるとすっきりする。 周りの人も納得できる。 みんなが気持ちよく生活できる。 自分勝手な行動はよくない。 相手の立場や気持ちを考えよう。

この資料は、バスに一番に乗ろうとしたよし子が、自分を並んでいた場所へ連れ戻した母の行動を通して、自分本位な考えを見つめ直し、みんなが気持ちよく生活するための公德の大切さについて考えを深めることのできる話である。相手の立場にまで考えが及ばず、自己中心的な考えを通す内容は、自己の快い感情に意義を感じる傾向の強い本学級の子供たちの実態調査からも身近な内容であり、共感しやすい資料であると言える。しかし、子供たちにとって、バス停留所という日常生活場面との関連が薄い舞台が中心となるため、展開を丁寧に押さえる必要がある。

今回、よし子の心情だけでなく、母親や他の乗客の心情まで考えることで、周りの人のことを考えてきまりを守ると、自分だけでなく周りのみんなも気持ちよく生活できることよさに気付くことができるように、この資料を活用する。

5 指導に当たって

(1) 対話を重視した「学び合い」【研究内容 1】

ア グループでの「学び合い」（認め合いの「学び合い」）

「お母さんはよし子に、どんなことに気付いてほしかったのか。」について、互いの考えを発表し合うことで、きまりを進んで守るための多様な見方や考え（意義や心構え）に気付くことができるようにする。その際、「似ている考え」、「違う考え」に着目することで、自他の考えを比較・分類し、友達の考えのよさを見いだすことができるようにする。

イ 全体での「学び合い」（磨き合いの「学び合い」）

歩きスマホ（ゲーム）の場面において、自分だったらどのように考え、行動するのか、立場を明確にして話し合うことで、主体的に課題解決へ向かい、道徳的価値についての自覚を深めることができるようにする。その際、「自分が周りの人の立場だったら」と考えさせることで、「規則の尊重」と「親切、思いやり」の二つの内容項目を関連付け、本時の重点化を図る考えである「みんなが気持ちよく生活できる」の意義と「相手の立場を考える」の心構えとを結び付けることができるようにする。


(2) 自己の学びを自覚するための評価活動【研究内容 2】

「規則の尊重」に関わる新たに気付いた見方や考え方を基に、本時を振り返り、「大切にしたい考え」と「生かしたい場面」を自己評価シートに記入することで、自己の生き方についての考えを深め、これからの生活に生かしていこうとする意欲を高めることができるようにする。また、本時で書いた自己評価シートを一か月後や学期末の際に振り返ったり、保護者から日常生活での様子を価値付け、称賛してもらう機会を設ける等家庭と連携を図ったりすることで、自分のよさや成長を実感することができるようにする。

6 本 時

(1) 目 標 社会生活を円滑に過ごすために必要であるきまりを守ることの意義やよさに気付き、みんなのことを考えて、公德を進んで大切にしようとする態度を育てる。

(2) 展 開 教師の言葉掛け 子供の反応 重点評価項目 ☆ ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
気付く(5)	<p>1 きまりを守ることにについてのこれまでの経験を振り返り、考えていきたい問題に気付く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">電車内でのきまりをしっ かり守って乗ることができ たよ。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">急いでいるとき、つい廊 下を走ってしまうことが、 まだあるな。</div> </div> <p>2 本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ、きまりを守らないといけないのだろうか。</div> <p>3 資料「雨のバス停留所」を視聴し、「規則の尊重」に関わる生き方について話し合う。</p> <p>(1) 資料の中で問題だと思う場面について、ペアで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">この話では、何が問題だと思いますか。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ よし子は順番を守らず一番にバスに乗ろうとしたよ。 ・ よし子は最後まで自分のことだけ考えていたな。 </div> <p>(2) バスが見え始めたときのよし子の行動や、バスを待っている人たちの様子から、きまりを守ることの大切さについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分がよし子だったら、どうしますか。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">【先頭に並ぶ】</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">【順番を守る】</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早くバスに乗りたいたから。 ・ 立ち続けて疲れたから。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの迷惑になるから。 ・ 自分だけ恥ずかしいから。 </div> </div>	<p>☆ 自己評価シートを基に、自分自身の経験を振り返らせた後、「いつもきまりを守れていますか。」と発問することで、意識と行動の矛盾に気付き、「規則の尊重」に関する問題意識を高めることができるようにする。</p> <p>○ 資料に入る前に場面絵を提示しバス停留所のきまりについて確かめることで、問題場面を明確に捉えることができるようにする。</p> <p>○ 資料一読後、「よし子のことをどう思うか」と問うことで、よし子が停留所の先頭に並ぶ場面に焦点化することができるようにする。</p> <p>○ きまりがある場合とない場合を比較し、「なぜ、きまりを守らないといけないのか。」と発問することで、きまりを進んで守ることの意義等に気付くことができるようにする。</p>
見つめる(30)	<p>(3) お母さんはよし子にどんなことに気付いてほしかったのかについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">自分のことばかりでなく、周りのことも大切に してほしい。</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">周りの状況を見て、自 分から進んできまりを 守ってほしい。</div> </div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; text-align: center;">【意義】 みんなが気持ちがいい→助け合う社会が築ける</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">学び合ったことを整理するため、友達の考えで自分に取り入 れたいと思った考えをワークシートに書く。</div> <p>4 日常生活の一場面を設定し、どのように行動するか話し合う。</p> <div style="text-align: right;">【全体での「学び合い」】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩きスマホ（ゲーム）のシミュレーション <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">【きまりを守る】</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">【ゲームを続ける】</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の人に迷惑になるから。 ・ 自分勝手な行動だから。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しいから。 ・ 少しくらい大丈夫。 </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">【その他】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前の歩行者がいなかったら、ゲームを続ける。 ・ 信号機の近くでは危ないから、ゲームを止める。等 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; text-align: center;">【「規則の尊重」と「親切、思いやり」との内容項目の関連】</div>	<p>○ 母親の立場から考えることで、相互の思いやりの心を基に、きまりが成り立っているという考えに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 「似ている考え」、「違う考え」に着目することで、理由や根拠となる生活経験について質疑・応答することができるようにする。</p> <p>○ 身近な生活場面と結び付けて自分だったらどのように行動するか話し合うことで、自分との関わりの中で判断し、実行する手立てを考えることができるようにする。</p> <p>○ 「もしも、自分が周りの人の立場だったらどう思いますか。」と問い返しの発問をすることで、対他者、対社会へと考えを広げ、きまりを守ることのよさに気付くことができるようにする。</p>
深める(7)	<p>5 本時を振り返り、きまりを守ることの大切さについて、自分の考えをまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">きまりは、自分だけでなく、 みんなが気持ちよく生活する ためにあるから守らないとい けないんだ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">安全・安心な社会にするた めにきまりを守らないといけ ないぞ。公園で遊ぶときに気 を付けたい。</div> </div>	<p>○ 「規則の尊重」に関わる新たな見方等を基に、大切な考えや生かしたい場面を自己評価シートに記入することで、自己の学びを自覚することができるようにする。</p>
高める(3)	<p>6 資料「わたしたちの道徳」を視聴し、きまりを守ることのよさについて考える。</p>	<p>◆ きまりを守ることの意義やよさに気付き、公德を進んで大切にするための見方や考え方を広げたり深めたりしているか。</p> <div style="text-align: right;">【自己評価シート】</div>

「学び合い」想定シート

めあて

なぜ、きまりを守らないといけないのだろうか。

【グループでの「学び合い」】



バスに乗ったお母さんは、よし子にどんな考えや気持ちに気付いてほしかったのでしょうか。グループで互いの考えを伝え合いましょう。

ぼくは、自分のことばかりではなく、周りの人の気持ちを考え、きまりを守る大切さに気付いてほしかったと思います。



私は、他の人に迷惑を掛けないようにするために、自分から進んできまりを守る考えに気付いてほしかったと思います。



「他の人に迷惑を掛けないようにする」ためには、「周りの人の気持ちを考える」ことが大切だね。二つの考えはつながっていて、似ている考えだね。

自分から進んできまりを守るためには、どうすればいいのかな。



きまりは、自分も他の人もみんなが気持ちよく生活するためにあることをいつも意識できればいいね。



グループでの「学び合い」で、新たに気付いた「規則の尊重」に関わる見方や考え方をワークシートの「友達の考え」の欄に整理する（特に大切だと思う考えは赤で囲む）。

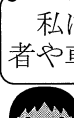
【全体での「学び合い」】

〈シミュレーション〉

友達の家で楽しくゲームをして遊んだ帰り道、ゲームの続きがしたくなりました。あなたは、どのように行動しますか。



この場面で自分だったらどのように行動しますか。理由や自分の生活経験を付け加えて、全体で話し合いましょう。【立場を明確にする】



私は、自分だったら我慢して家に帰ってからゲームをします。なぜなら、周りの歩行者や車の迷惑になるからです。また、歩きながらゲームをすると危険だと思います。



ぼくだったら、歩きながらゲームをします。なぜなら、周りに注意しながらゲームをすれば、少くく大丈夫だと思うからです。



私だったら、信号機の近くや人が多くなったところではゲームを止め、他の場所ではゲームを続けます。なぜなら、けがをしたくないからです。



もしも、自分が周りの歩行者や車を運転する人の立場だったら、歩きながらゲームをしている人を見てどう思いますか。【別の立場から吟味し直す】



歩きながらゲームをするのは危ないから、止めてほしいと思うな。

だよ。その人が原因で、他の人もけがをするかもしれないよね。



なるほど。きまりを自分から進んで守ることはもちろん大事なことだけど、他にもどんな考えを大切にしなければいけないですか。【価値観を高める】

きまりは自分だけでなく、みんなが安全に過ごすためにあるものなんだ。



自分のことだけ考えるのではなく、周りのことを考えることが大切だね。

「みんなが気持ちよく生活できる」、「安全・安心して暮らすことができる」ために、きまりを守らないといけないぞ。